

瀬戸川だより

～瀬戸川で生きる。そして生きつづけたい。～

2020年号(第20号)

発行元
土佐町役場 企画推進課
☎0887-82-2450
○瀬戸コミュニティセンター
☎0887-72-9114
○南川会館
☎0887-72-9611

瀬戸川渓谷の紅葉情報！

秋の風が渓谷を通り抜け、色付き始めました！稲叢山からの標高差は千メートル近くあり変化にとんだ景観が
楽しめ、見頃は例年通りだと、10月中旬から11月中旬です。瀬戸川渓谷の魅力は稲村山から紅葉が始まり麓
まで降りてくる景色でしょう(´▽`) アメガエリの滝周辺の遊歩道散策コースの(もみじ街道やぶらぶら
橋)紅葉は素晴らしく癒しスポットとなっております。

【ルート】

瀬戸川渓谷へは国道439号線から大川村経由(県道17号線)でお越してください。

土佐町石原地区からの県道6号線のルートは道幅が狭く一部ガード
レールがない箇所もありますので、大川村経由をご利用ください。

【注意】

期間中は瀬戸川渓谷周辺の混雑が予想されます。道路が狭くす
れ違いも大変ですので、譲り合いの気持ちでお願いします。

【問い合わせ】

土佐町役場企画推進課 TEL0887-82-2450



【報告】稲叢山周辺の草刈り事業

9月27日(日)、ふるさとの森を育む会が、稲叢山の
しずく小屋周辺の草刈り作業を行いました。

この団体は、早明浦ダムの源流域や高知市水道の水源地
でもある瀬戸川流域での植樹による保水力の向上や自然環
境の保全、利水地域の人々との交流の場とすることを目的
に、稲村ダム周辺に桜及び広葉樹の植樹を行っている団体
です。

例年は、他県との団体と共同で草刈り作業を実施してい
ますが、今回は新型コロナのため、
当会会員のみでの作業となりまし
た。小木の周りの草を鎌で刈る
作業を行い、終了後、猪汁の振
舞いもあり、会員同士の親睦が
深まりました。



南川の一コマ ～河内神社神祭～



そろそろ、山々や瀬戸川に秋の訪れが身近に感じ
始めました。町内各地域で神祭の声が聞こえていま
す。

当日は、社殿、境内を地区住民一丸となりお清め
作業いたします。中でも、一番大変な作業は神社内
にはりめぐらすしめ縄(通称おしめ)を縛うこと
です。今では縛う人が少なくなってきています。

「百万遍みそ」の今後

今年もお味噌の仕込み作業の季節がやってまいりました。

この度はコロナ禍の中での作業となりますので、生産量が著しく少なくなります。

味噌づくりのメンバーも年々高齢になり今までのような数を確保することが困難になってきています。そのため、日頃から皆様方には、各店舗を通じてご賞味頂いておりますが、この度、現在の商品在庫のみで各店舗での販売を終了させていただきます。今まで、誠にありがとうございました。

今後は、南川・味噌加工所での直売と希望者への委託みそ仕込みを細々ではありますが、続けていきます！

懐かしい方々との一枚▶



◇令和2年10月現在の人口など◇

地区	人口等
南川	人口 28人(入院中の方を含む)
	世帯数 14世帯
下瀬戸	人口 10人(入院中の方を含む)
	世帯数 7世帯
黒丸	人口 27人(入院中の方を含む)
	世帯数 16世帯

※ここでは実際に瀬戸川地区に暮らしている方々の人数等を載せています。

【報告】瀬戸川ロマンの活動

環境美化活動の一環として、昨年度、土佐町随一の景勝地「アメガエリの滝」周辺に紅葉の苗の植栽をしました。



この度、10月5日に観光シーズンも到来するので、景観を損なわないよう、また、植栽した若い苗が雑草に埋もれないように苗周辺の下草刈りを行いました。紅葉の風景が広がるのはまだまだ先ですが、大切に育てていきたいと思えます。

また、会員の方が「絵馬」を自主的に約50個作りました。これは、瀬戸川に訪れた方に、瀬戸川への想いや感想を絵馬に書いていただき、道の駅等で飾って、観光客に瀬戸川の魅力を伝えようという取組です。南川・瀬戸地域にある展望所・休憩所に11月中旬ごろまで置いてありますので見かけた方はぜひご投函ください。

私たち「瀬戸川ロマン」はいわば、瀬戸川地域の「ファンクラブ」です。瀬戸川地域出身者の方をはじめ、瀬戸川地域に“想い”を持った人のグループであり、伝統行事や道づくり、瀬戸川渓谷の景観維持活動、地域の発展などに寄与することを目的に活動するボランティア団体です。会員も募集中です。私たちと一緒に活動しませんか？

瀬戸川ロマン代表 藤田光三

「瀬戸川だより」に対する感想・お問合せはこちらへ！！

【南川】〒781-3742土佐町南川1224-2
南川会館 小林聖花宛て

email: minagawa@utopia.ocn.ne.jp

【瀬戸】〒781-3337土佐町瀬戸658

瀬戸コミュニティセンター 岡林孝通宛て

email: okabayashi@herb.ocn.ne.jp



集落支援員のつぶやき 〜結(ゆい)〜

こんにちは、皆様いかがお過ごしですか。新型コロナウイルスによる新しい生活環境に慣れつつある今日この頃でしょうか。地域住民の安全を守る立場として、地域内での感染症対策は重要で、持ち込まない、広めないことが大事です。ただ、コロナ禍において、すこし、お疲れの方もいらっしゃるでしょうね。はい、私もその一人です。今回は、このような中で少し感じた嬉しい事をお話しします。

先日台風による強風の影響で、業者が入らない生活道路に枯葉や木の枝木が覆い被さっており、これを地区の人々の他、元地区の方々も加わって綺麗にさせていただきました。参加いただいた方々、ありがとうございました。今も地域には「結(ゆい)」という集落や自治会での助け合い、協力し合う相互扶助の素敵な心が受け継がれていました。コロナ禍でのほっと気持ちが和らいだ一幕でした。

南川集落支援員 小林聖花